

週間漁海況情報 2026年第34号

令和8年9月1日発行

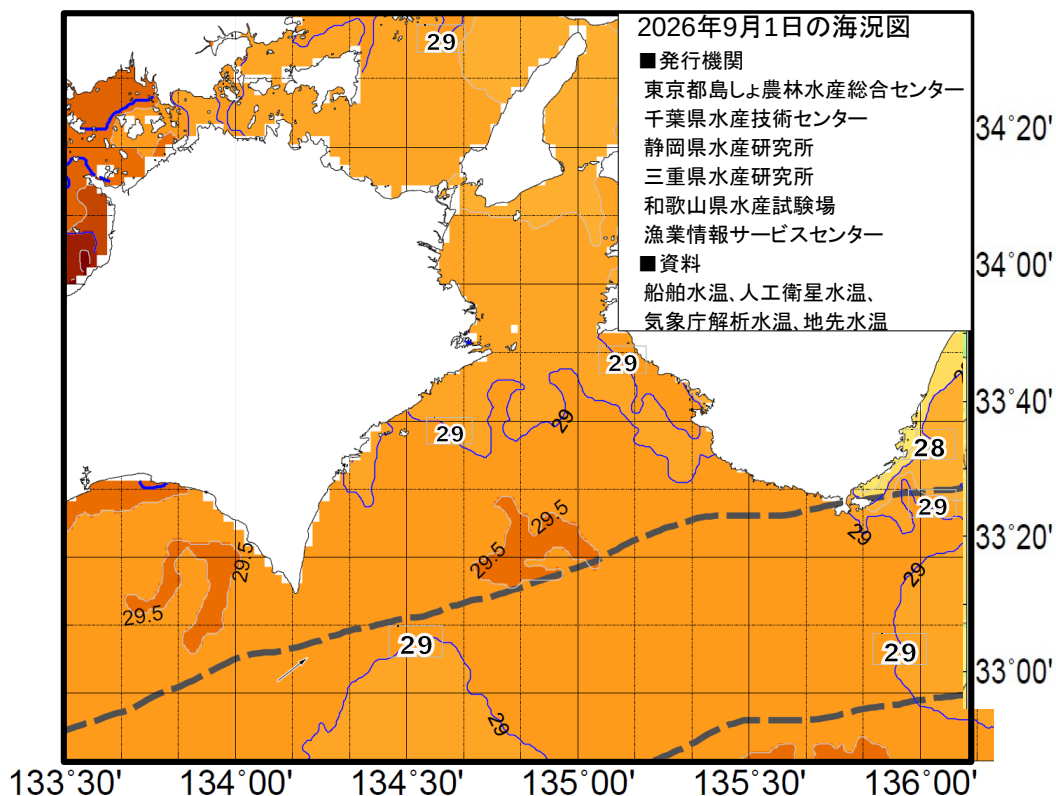
海況

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖20マイル付近、潮岬沖10マイル付近を流れ、室戸岬、潮岬とも「接岸」している。

黒潮の表面水温は28～29℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘で28、紀伊水道で28、海部沿岸で28～29℃台となっている。



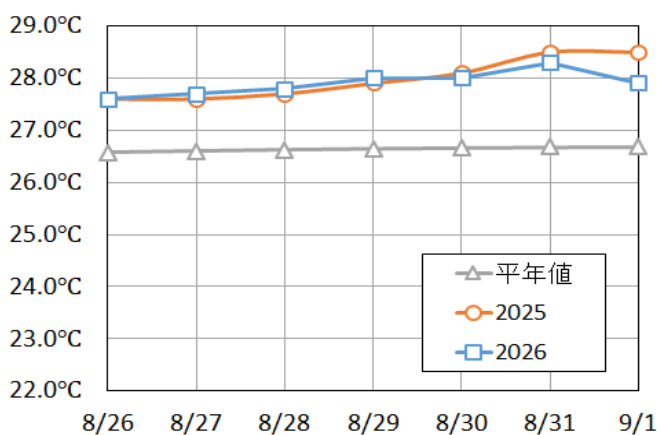
※黒潮の離接岸の表現
室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～
潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～
※図中の破線は黒潮の北縁を示しています。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

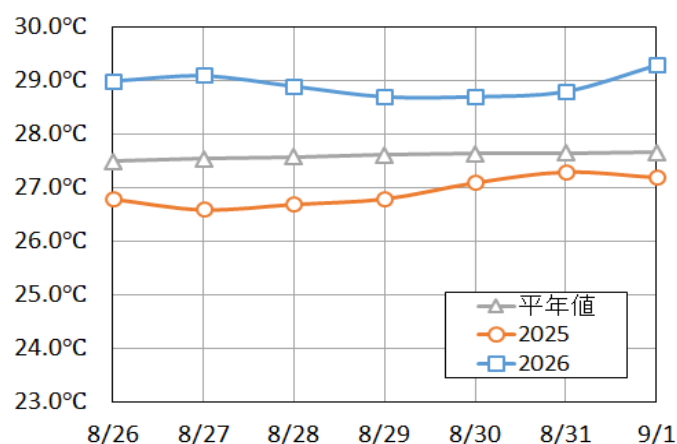
2. 地先水温(8月26日～9月1日)

鳴門地区の水温は、27.6～28.3℃で「やや高め」で推移。浅川地区は、28.7～29.3℃で「やや高め」から「高め」で推移。鳴門と浅川地区の水温差は、0.5～1.4℃だった。

鳴門地区



浅川地区



※水温の高低 平年並み：平年値±0.5℃未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満、かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 1984年～2022年(鳴門)、2018年～2022年(浅川)の平滑平均値(いずれも日平均水温を使用)

3. 週間予報(9月2日～9月8日)

黒潮は、室戸岬沖、潮岬沖とも「接岸」して推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区は「やや高め」、浅川地区は「高め」で推移する見込み。

漁況

(8月24日～8月30日)

1. 紀伊水道（標本漁協：4）

船びき網では、シラスが大きく減って20.3ト水揚げされた。

延縄では、ハモが減って中主体に3.9ト、あまだい類が減って0.2ト水揚げされた。

底びき網では、ハモが減って中主体に7.8ト水揚げされた。

小型定置網では、ブリがめじろ級主体に0.3ト、イサキが大きく減って大主体に0.2ト、マアジが豆あじ級主体に0.2ト水揚げされた。

2. 海部沿岸（標本漁協：4）

まとまった漁獲はありませんでした。

漁獲量集計表（漁獲量が0.15トン以上のものを抜粋）

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	50	シラス	20,250	405		↘↘
	延縄	51	ハモ	3,863	76	中主体	↘
		28	あまだい類	185	7		↘
	底びき網	32	ハモ	7,812	244	中主体	↘
	小型定置網	7	ブリ	309	44	めじろ級主体	→
		13	イサキ	205	16	大主体	↘↘
		15	マアジ	179	12	豆あじ級主体	→

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘